

動物愛護の現場から

6月17日(土)の3時間目に葛飾動物愛護協会より、阪本 司津代さんにお越しいただき、「命の大切さ」について講演していただきました。動物愛護センターの実態や活動内容などをお話していただきました。この講演を機にさまざまな問題を考えていかなければなりません。講演後に生徒が話を聞いて、「感じたこと」や「考えたこと」の一部を紹介します。

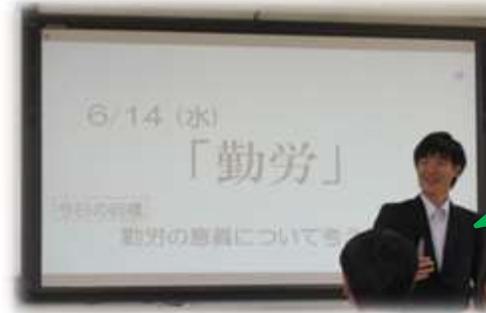


生徒が話を聞いて「感じたこと」や「考えたこと」

- ・「地域猫」など動物は、人間の心を癒すだけでなく、人間につながりをつくることもできて、予想以上の力を持っていて驚いた。犬や猫などの動物は、よく人間にペットとしてかわれているが、それは人間から一方的に「飼育」しているのではなく、「共生」しているということ。
- ・こどもから大人まで捨て猫や捨て犬をいじめたり、殺したりしていると聞いてびっくりしました。多分、犬や猫をいじめたりする人は、どんな動物も人間と同じ一つの命ということを知らない人だと思えます。
- ・野良猫などを地域の人たちで世話する取り組みは、とても良いことだと思った。地域の人たちが明るくなったり、後に対する考え方も改まると思う。数が多いから殺処分してしまうのはかわいそうだと思う。数が多い分、地域の人たちなどがしっかり世話をしたら良いと思った。
- ・猫や犬は私たちに何も悪いことをしていないのに人間の勝手なことで捨てられたり、虐待を受けたりしていることをすごく残念だと思った。また、動物愛護の方々が活動しているおかげで、たくさんの猫や犬の命が守られていると知って、とても重要な仕事だと思った。

わくわく絵本タイム

千駄木幼稚園へ絵本の読み聞かせに行きました。2年生からは5名参加しました。帰りは園児が元気にお見送りをしてくれました。



荻原先生には、「勤労」についての道徳の授業をしていただきました。勤労の意義について、グループでたくさん意見がでてきました。9月の職場体験に向けて、心の準備をしていきましょう。

荻原先生より

短い間でしたが、お世話になりました。先生は、みなさんのことが大好きで、毎日みなさんの笑顔を見て元気を貰っていました。授業だけでなく、学活や給食、放課後にもたくさん話をしましたね。2年1組全員と楽しい3週間を送れたことは絶対に忘れないし、先生の人生の永遠の財産となりました。これからみなさんは長い人生を歩んでいくわけですが、先生の座右の銘であるシェイクスピアの言葉を借りると、「人生には幸も不幸もない。ただ、考え方でどうにでもなるのだ。」みなさんの人生に多くの幸せがあることをいつでも祈り、みなさんのことをずっと応援しています。ありがとうございました。



広谷先生も道徳の授業をしてくださいました。ありがとうございました。

